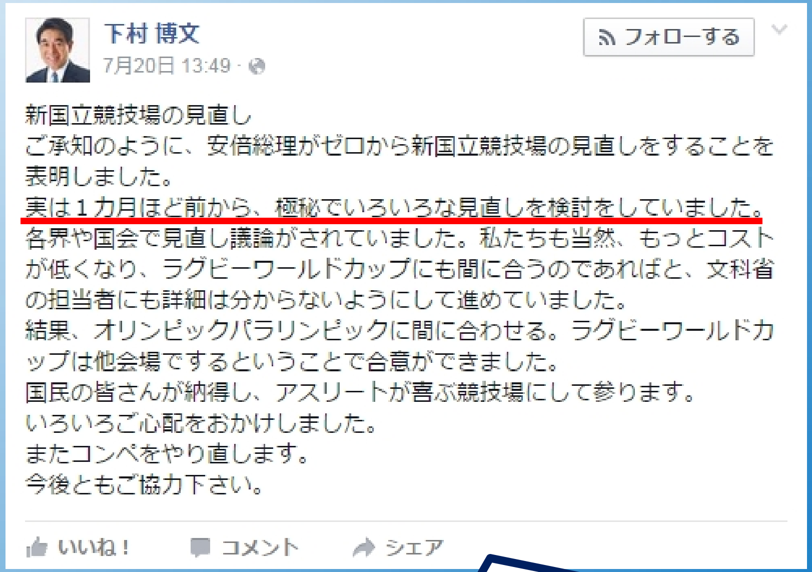
誰と？本当に？検討したのか？


下村 博文
7月20日 13:49
フォローする

新国立競技場の見直し
ご承知のように、安倍総理がゼロから新国立競技場の見直しをすることを表明しました。
実は１カ月ほど前から、極秘でいろいろな見直しを検討をしていました。
各界や国会で見直し議論がされていました。私たちも当然、もっとコストが低くなり、ラグビーワールドカップにも間に合うのであればと、文科省の担当者にも詳細は分からないようにして進めていました。
結果、オリンピックパラリンピックに間に合わせる。ラグビーワールドカップは他会場でするということで合意ができました。
国民の皆さんが納得し、アスリートが喜ぶ競技場にして参ります。
いろいろご心配をおかけしました。
またコンペをやり直します。
今後ともご協力下さい。

いいね！　コメント　シェア

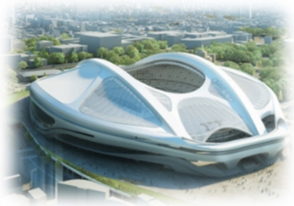
「実は１か月ほど前から、極秘でいろいろな見直しを検討していました。」
（7月20日Facebookでの記載）

「１カ月ほど前から、新たな形で見直せないかということについては、安倍総理とですね、ごく一部の人たち、内々に検討してまいりました。」
（7月21日記者会見）

「文部科学省では、１カ月前、総理からの指示、つまり、ほんとうに見直すことができないか、さらに研究を進めてほしいというご指示がありました。」
「基本的には私と事務次官で進めておりました」
（7月24日記者会見）

出典：下村文科大臣7月20日付Facebook記載、文部科学大臣記者会見録より抜粋
平成27年8月10日（月） 参議院予算委員会　蓮舫（民主党・新緑風会）

散々否定しながら、突然の白紙撤回

日付	主な出来事
7/7	ＪＳＣ、国立競技場将来構想有識者会議において旧計画を了承  **総工費：2,520億円** ※オリンピック閉幕後に開閉式屋根増設（約260億円）等でさらに追加支出 ※計画では、ラグビーワールドカップ開催までに建設
7/9	ＪＳＣ、本体工事の一部を契約（56.6億）
7/10	 衆議院平和安全法制特別委での安倍総理答弁 「これから国際コンペをやって、新たに新しいデザインを決めて、それで基本設計をつくっていくということでは、時間的に間に合わない。二〇一九年のワールドカップラグビーには間に合わないということになるわけでございまして」
7/14	 参議院内閣・文教科学委連合審査会での下村文科大臣答弁 「二〇一九年のラグビーワールドカップはやはりこの国立競技場で行う必要があるということの中で、これは見直ししたら間に合わないということでもあります。」
7/17	突然の白紙撤回

出典：発言部分は衆参同委員会議事録より抜粋
平成27年8月10日（月） 参議院予算委員会　　蓮舫（民主党・新緑風会）

どちらかが嘘を？矛盾する説明

ザハ・ハディド事務所
7月28日HPにて
公表の声明より

「建設費の高騰はデザインのせいではない」
「入札制限が多く、競争なき建設会社の指名、プロジェクトチームと建設会社の協力がなかったことが原因」

「建設会社と共に働くことが許されなかった、不必要な建設費のつり上げ、完成日時の遅延といったリスクを高めた」

「競争のない状況を考慮し、仕様書の規模縮小で建設費下げると提言」
「低価格な代替案あった」
「低価格なスタジアムをデザインして欲しいという要求はなかった」

「技術的難易度が極めて高い新国立競技場の工事に、受注メーカーが限定されている中、高度な技術を持つ人材を確実に確保することが必要なこと、大量に良質の資材を確実に確保することが必要なこと、また、大量に発生する建設発生土を運搬するダンプや運転手を短期間で大量に確実に確保することが必要なことなどが、人材及び資材の調達を確実にしなければいけないということで特殊性がありました。これは、その時点ではここまで大規模になるということは想定ができなかったところでございます。」

河野一郎ＪＳＣ理事長
7月14日開催の
参議院内閣・文教委
連合審査会での答弁

出典：ザハ・ハディド事務所HP掲載の7月28日付声明、7月14日参議院内閣・文教科学委連合審査会議事録より作成
平成27年8月10日（月） 参議院予算委員会　蓮舫（民主党・新緑風会）

「白紙」なのに、いまなお続く契約

主な履行期間中（7月17日時点）の工事関係契約	金額
国立競技場改築に伴うスタジイ移植工事	0.2億円
下水道敷設工事及び監理業務	9.8億円
国立霞ヶ丘陸上競技場解体工事及び監理業務	31.9億円
日本青年館等解体工事	9.1億円
新国立競技場整備に伴う埋蔵文化財発掘調査	3.4億円
ＪＳＣ本部棟・日本青年館新営設計・工事・監理等	169.1億円
日本青年館移転・休業に伴う補償	93億円

総額300億円以上！

出典：民主党東京オリンピック・パラリンピックに係る公共事業再検討本部へのJSC提出資料等より民主党事務局作成
平成27年8月10日（月） 参議院予算委員会 蓮舫（民主党・新緑風会）

新国立競技場に係る履行期間中の工事関係契約一覧

No.	契約件名	契約相手方	契約金額 （税込金額）	契約締結日	契約終了日
1	国立競技場改築に伴うｽﾀﾞｼﾞｲ移植工事	㈱富士植木	15,120,000	H26.4.22	H28.7.31
2	下水道千駄ヶ谷幹線敷設工事	大成建設㈱東京支店	972,000,000	H26.8.18	H27.9.30
3	下水道千駄ヶ谷幹線敷設工事監理業務	㈱三紀	10,368,000	H26.8.29	H27.9.30
4	国立霞ヶ丘陸上競技場等とりこわし工事（南工区）	関東建設興業㈱	1,505,520,000	H26.12.15	H27.9.30
5	国立霞ヶ丘陸上競技場等とりこわし工事（北工区）	㈱ﾌｼﾞﾑﾗ	1,672,920,000	H26.12.19	H27.9.30
6	国立霞ヶ丘陸上競技場等とりこわし工事監理業務	㈱岡野建築設計事務所	10,238,400	H26.8.28	H27.10.19
7	国立霞ヶ丘陸上競技場等とりこわし工事に伴う発生材売払監理業務	㈱岡野建築設計事務所	5,184,000	H27.3.5	H27.9.30
8	日本青年館等とりこわし工事	田中建設工業㈱	907,200,000	H27.2.19	H27.9.30
9	日本青年館等とりこわし工事監理業務	㈱東建築設計事務所	5,184,000	H27.2.19	H27.9.30
10	新国立競技場等整備に係る発注者支援業務(平成27年度)	山下設計/山下ﾋﾟｰ･ｴﾑ･ｺﾝｻﾙﾀﾝﾂ/建設技術研究所共同体	273,240,000	H27.3.31	H28.3.31
11	平成27年度新国立競技場整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査委託	(公財)東京都ｽﾎﾟｰﾂ文化事業団	338,029,200	H27.3.31	H28.3.31
12	日本ｽﾎﾟｰﾂ振興ｾﾝﾀｰ本部棟・日本青年館（仮）新営設計業務	㈱久米設計	307,550,240	H26.6.5	H27.7.31
13	日本青年館・日本ｽﾎﾟｰﾂ振興ｾﾝﾀｰ本部棟新営工事	㈱安藤・間	16,470,000,000	H27.6.30	H29.6.8
14	日本青年館･日本ｽﾎﾟｰﾂ振興ｾﾝﾀｰ本部棟新営工事監理業務	㈱久米設計	112,320,000	H27.6.23	H29.10.30
15	日本青年館・日本ｽﾎﾟｰﾂ振興ｾﾝﾀｰ本部棟新営工事設計意図伝達業務	㈱久米設計	18,360,000	H27.6.30	H29.6.8

契約解除に向けて手続を進めているもの

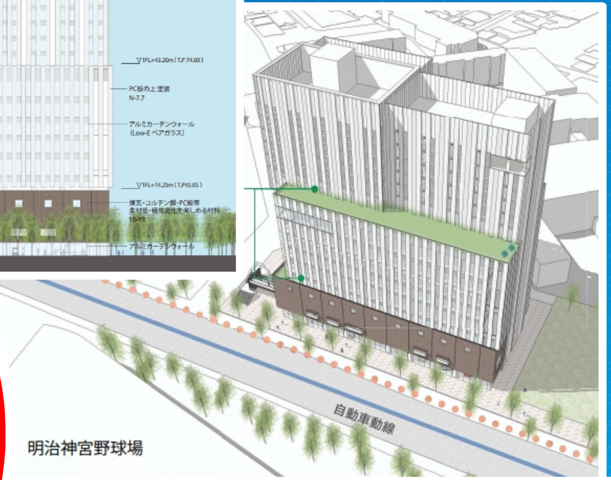
No.	契約件名	契約相手方	契約金額 （税込金額）	契約締結日	契約終了日
1	新国立競技場実施設計業務	日建設計･梓設計･日本設計･ｱﾗｯﾌﾟ設計共同体	2,647,306,800	H26.8.20	H27.9.30
2	新国立競技場（仮称）新営工事（ｽﾀﾝﾄﾞ工区）②技術協力業務（平成27年度）	大成建設㈱	222,480,000	H27.5.19	H27.9.30
3	新国立競技場（仮称）新営工事（屋根工区）②技術協力業務（平成27年度）	㈱竹中工務店	299,991,600	H27.5.28	H27.9.30
4	新国立競技場の施工段階におけるﾃﾞｻﾞｲﾝ監修業務	Zaha Hadid Limited (Zaha Hadid Architects)	170,000,000	H27.6.23	H28.3.31
5	新国立競技場（仮称）新営工事（ｽﾀﾝﾄﾞ工区）	大成建設㈱東京支店	3,294,000,000	H27.7.9	H28.12.28
6	新国立競技場（仮称）新営工事監理業務	日建設計･梓設計･日本設計･ｱﾗｯﾌﾟ設計共同体	2,367,900,000	H27.7.9	H31.3.29
7	新国立競技場改築における準備計画のﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ及びﾚｲｱｳﾄ計画作成支援業務	㈱日建設計	98,280,000	H27.7.2	H28.3.31

平成27年8月10日 参議院予算委員会 民主党･新緑風会 蓮舫
出典元:7月28日文科省より蓮舫事務所への提出資料

白紙撤回の「白紙」って何？

日本青年館・
日本スポーツ振興センター本部棟

階数：地上16階、地下2階、搭屋１階
用途：劇場（1,250席）、ホテル（220室）、事務所



築20年のＪＳＣ本部を
なぜ建替えるのか？
新国立競技場は
「白紙」なのに、
なぜ自らの本部ビルは
「白紙」じゃないのか？
（建設費：165.8億円）

出典：第56回新宿区景観まちづくり審議会（平成27年1月23日開催）提出「日本青年館・日本スポーツ振興センター本部棟景観事前協議資料」より抜粋
平成27年8月10日（月） 参議院予算委員会 蓮舫（民主党・新緑風会）

見直しまで、いくらの税金がかかるのか？

支払わなければならない額 （返金がなされない契約額（見込）））	61.2億円
止められたはずの契約額 （見直しを検討している最中、7月9日に契約した額）	56.6億円
止まっていない契約額	318.1億円

最初の指摘からすでに２年以上
白紙撤回までに投じた税金は…

435.9億円

さらに賠償金も？

出典：民主党東京オリンピック・パラリンピックに係る公共事業再検討本部（7月21日開催）等へのJSC提出資料より民主党事務局作成
平成27年8月10日（月） 参議院予算委員会　蓮舫（民主党・新緑風会）

数字が合わない…整備コスト概算削減額

	立候補ファイル上の整備費	資材高騰などの影響を受けた整備費（①）	削減後の整備費（②）	削減額（①－②）
バスケットボール	369億	?	?	▲860億
バドミントン				
カヌー（スラローム）	32億	?	?	▲40億
馬術	35億	?	?	▲100億
水球	76億	?	?	▲140億
テコンドー	26億	?	?	▲160億
レスリング				
フェンシング				
セーリング	100億	?	?	▲400億
合計額	638億	?	?	▲1700億

なぜか？
公表されない
削減前の整備費

出典：7月9日文部科学省提出資料を基に民主党政調事務局作成
平成27年8月10日（月） 参議院予算委員会　蓮舫（民主党・新緑風会）

組織委員会作成資料

競技会場見直しに伴う整備費の削減額の公表について

○　ＩＯＣ理事会において話した「約 17 億ドル（約 1700 億円）」は、ＩＯＣから特に全体の削減額を求められたため、諸条件が定まらない中であえて仮定を置き、敢えて概算額を答えたものである。

○　具体的な基本設計・実施設計の時期は競技会場によって異なるが、整備費がおおよそ固まり、実際に契約段階に入るのは、2018 年以降となり、現時点で確度の高い整備費を示すのは困難である。

○　このため、会場ごとの基本設計等が固まり、金額についてしっかりとした説明をし得るものから、公表することとしたいと考えている。

平成27年8月10日 参議院予算委員会 民主党･新緑風会 蓮舫
出典元:7月22日文部科学省より蓮舫事務所への提出資料

機構内報 ～ きずな ～

Vol. 189　　2015. 6. 22

【緊急メッセージ】

職員の皆様へ ～ 不正アクセス事案に直面して ～

5月8日から断続的に続いてきた「外部からの不正アクセス」により、125万件の個人情報が流失いたしました。

まず、機構職員全員がこのことを重く受け止め、全てのお客様に深くお詫びしなければなりません。そして二次被害を防ぐために全力を尽くさなければなりません。

不正アクセス事案に関して、現在当機構が強いご批判を頂いている点は、

①不正アクセスに対し危機管理対応として適切な対応がとれていなかったのではないか。

②危機管理対応の基本的ルールを定めた情報セキュリティーポリシー等に不備があったのではないか。

③流失した個人情報にパスワードが設定されていない、適切なアクセス制限が設定されていない等、規定違反があり、且つそれが放置されていたのではないか。

④共有フォルダの管理が現場任せであり、ルールは決まっているがそのルールを守らせる仕組みがなかったのではないか。職員に守る意識も希薄だったのではないか。

⑤個人情報がインターネット環境の中におかれるというシステム設計上の問題が放置されていたのではないか。

⑥職員しか知りえない情報が外部に発信される等情報管理の基本的ルールが守られていないのではないか。等々です。

私は現在のポストに就いて約二年半になります。この間、時効特例給付・兵庫事務センターを始めとした処理遅延問題・臨時福祉給付金の抽出問題等、数度にわたり機構を代表してお客様に謝罪しました。

今回の問題もその原因を辿れば同根の問題です。「ルールが明確でない」「基本的ルールが守られていない」「現場任せである」「PDCAが回っていない」「お客様の大切な年金を守るという意識に欠けている」、この機構は何度同じことを指摘され、何度同じことを反省したでしょうか。何故一向に改善されないのでしょうか。

平成27年8月10日 参議院予算委員会　民主党・新緑風会 蓮舫

出典元：日本年金機構 機構内報きずな

何故一つの問題が解決の方向になっても、次々に問題が出てくるのでしょうか。
何故心無い書き込みが外部になされるのでしょうか。

その答えは「この機構が潰れることはない」「この仕事がなくなることはない」と思っている人たちがいるからです。民間会社であればとっくに自壊し潰れています。

職員の中に、仕事に対する意欲が感じられない者がいること、そしてその人たちが周囲に悪影響を与えていることを知っています。一度管理職になると容易には降格しないことも知っています。結局、お客様のために働く人を評価する、信賞必罰、適材適所の人事政策が行われることが今最も必要であると考えています。

我々の仕事はお客様である国民の信頼の上に成立しています。これを失ったならばこの機構は存立しえません。

今回、大量の個人情報の流失が発生しお客様の信頼を大きく損ねました。

今我々にできることは二次被害を発生させないこと、ご心配・ご不安をお持ちの多くのお客様にご安心頂くため一人一人ができることを積み重ねていくことです。

皆さん、私は6月1日の公表以来、国会をはじめ多くの場所でお詫びをしてきました。皆さんも私とお詫びの気持ちを共有していただいてきましたか。そしてその気持ちを表すために何か具体的な行動を起こしましたか。

多くの職員はお詫びの気持ちを共有し、行動していただいているものと思っています。

お客様にご評価いただく以外この難局に対処する方法はありません。

全員で力を合わせお客様に少しでも信頼していただくために努力して行こうではありませんか。

日本年金機構理事長
水島　藤一郎

※日本年金機構不正アクセス事案への対応等にかかる指示・依頼等文書について、一覧表を作成しましたので、内容を確認する際の参考としてください。
　01201 指示・依頼等 ＞ 00401 指示・依頼等文書一覧表 ＞ 日本年金機構不正アクセス事案への対応等

平成27年8月10日 参議院予算委員会　民主党・新緑風会 蓮舫
出典元:日本年金機構 機構内報きずな